

IP回線ルーターシステムの採用と 今後の展望

北海道文化放送
菊谷 康行

回線ルーターの更新に際して

地上デジタル放送開始以来、HD-SDIでシステムを構築



将来、この設備を使用していく者たちの
「新しい取り組み」を実現できる可能性を
持った設備にすることが、
今自分たちに来ることだ、という信念でIPへ

「IP」の選択

HD-SDI

- 従来通りの運用
- 信号の取り扱いが容易
- 今できることを着実にできる



何も変えなくてもいい



IP

- 信号が見えない
- IP機器の取り扱いが不慣れ



何となく心配



「IP」の選択

IPのメリット

- 4Kへの対応が容易
- 周辺システムとシームレスな連携が可能
- 拡張性、柔軟性
- 大量のケーブルからの解放
- 新技術の活用

4Kを考慮した選択肢

地上波TV放送においても4K制作への備えが必要？

3G-SDIクアドリンク

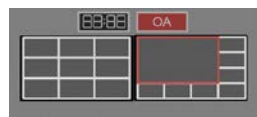
12G-SDI

IPネットワーク

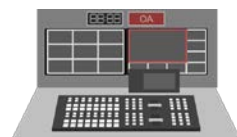
どうする？

4Kを考慮した選択肢

マスター



報道サブ



制作サブ



ラック室



回線ルーター



本館

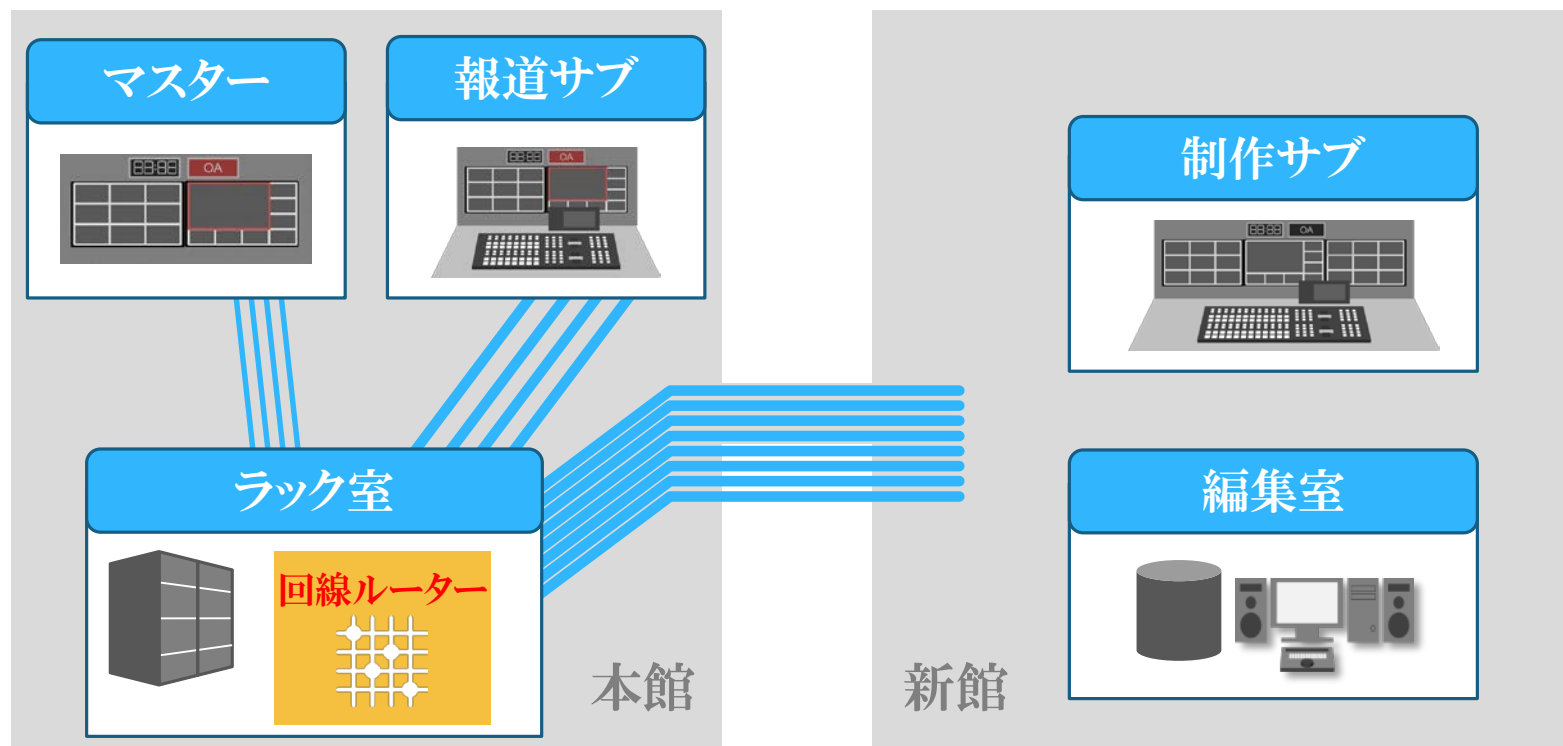
編集室



新館

4Kを考慮した選択肢

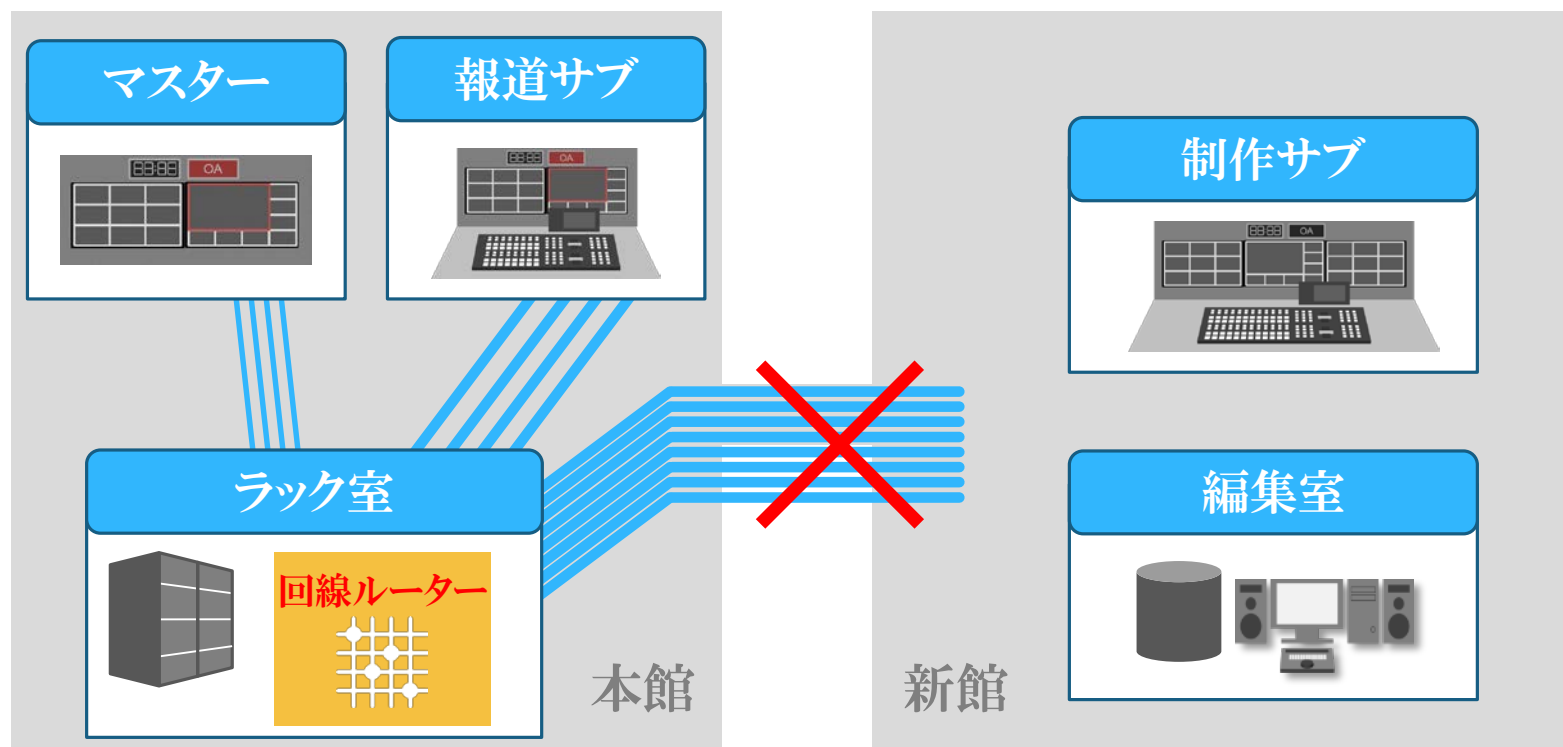
3G-SDI クアッドリンク



4Kを考慮した選択肢

3G-SDI クアッドリンク

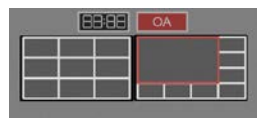
ケーブル量の限界



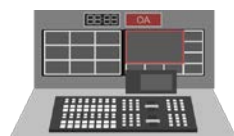
4Kを考慮した選択肢

12G-SDI

マスター



報道サブ



制作サブ



ラック室

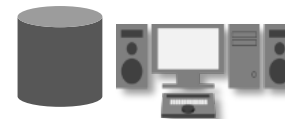


回線ルーター



本館

編集室

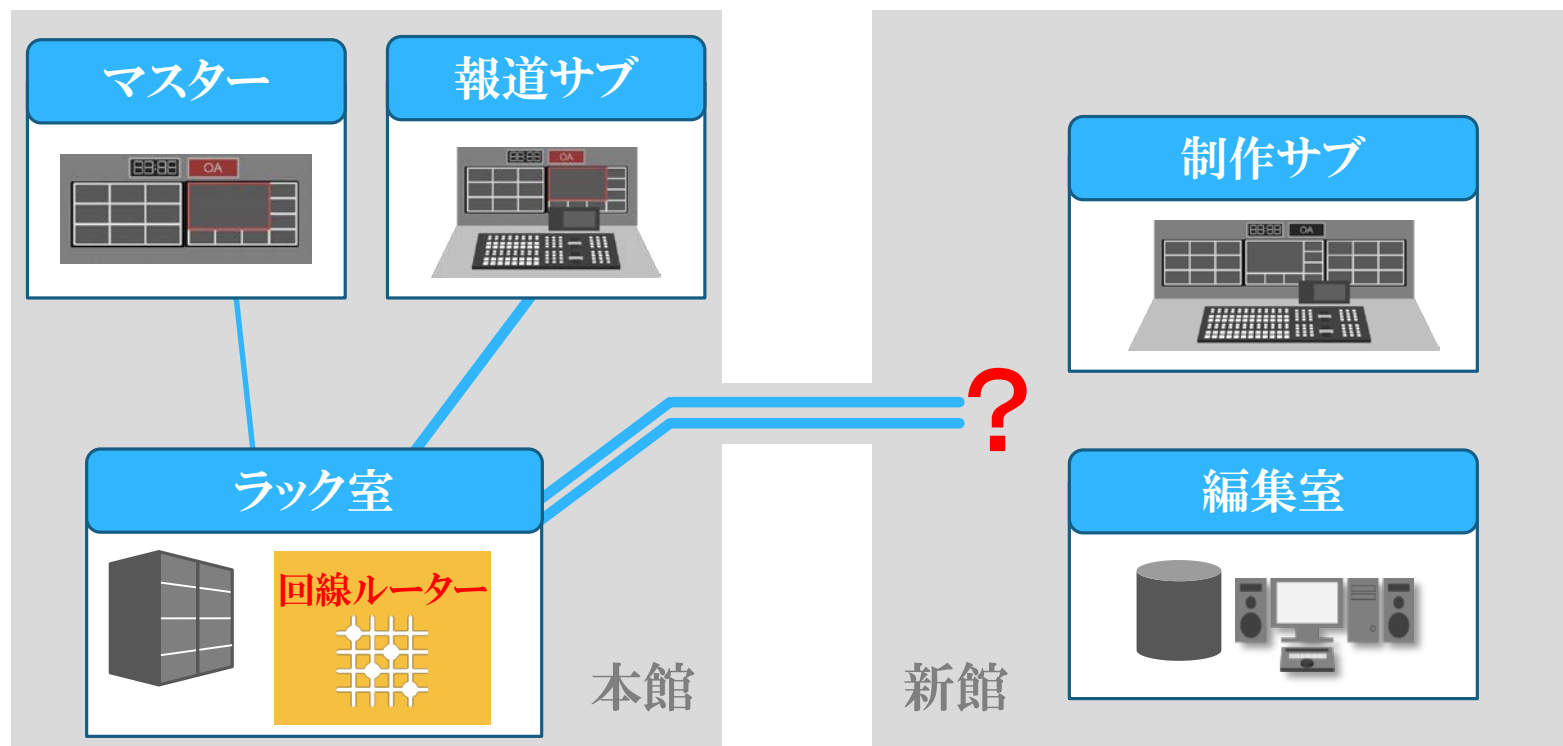


新館

4Kを考慮した選択肢

12G-SDI

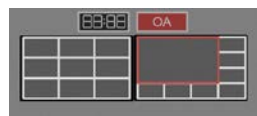
配線距離の限界



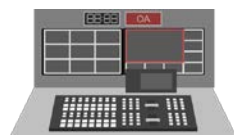
4Kを考慮した選択肢

IPネットワーク

マスター



報道サブ



制作サブ



ラック室



回線ルーター



本館

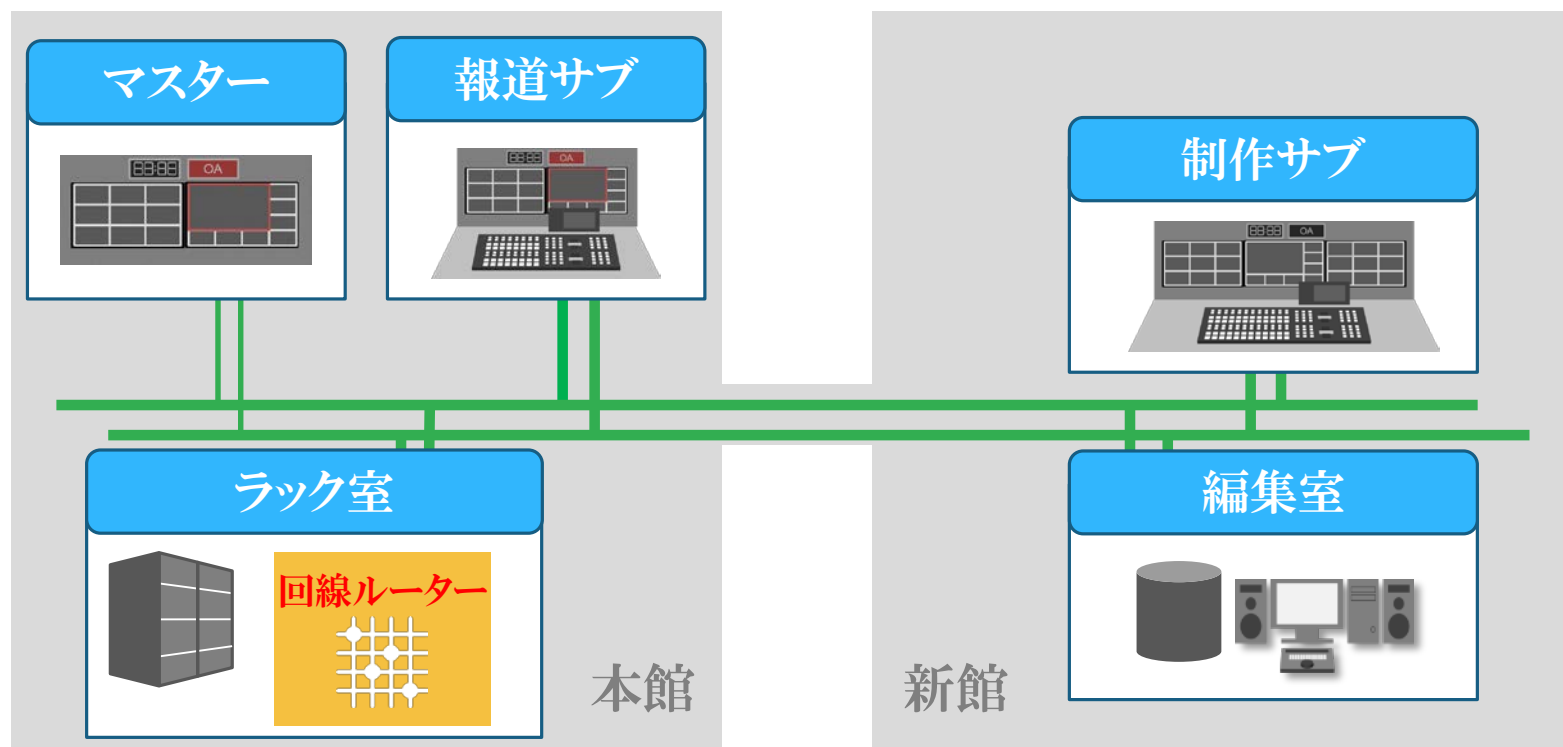
編集室



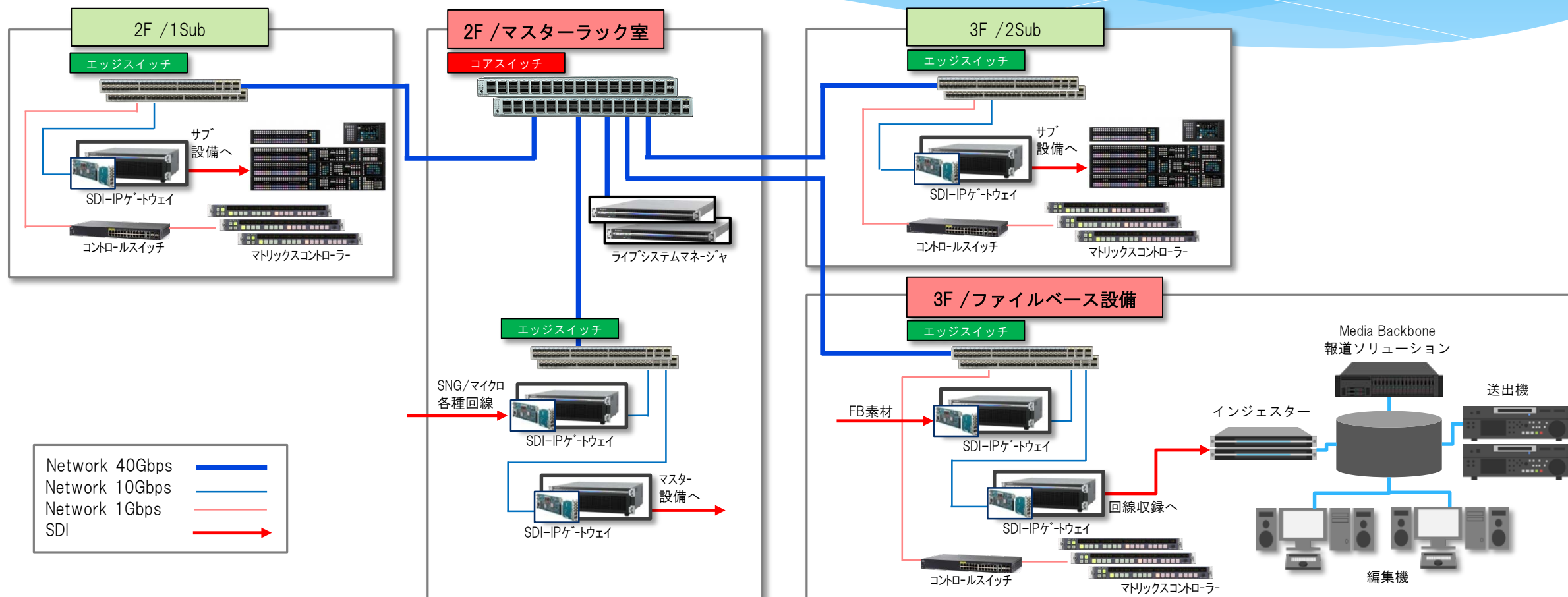
新館

4Kを考慮した選択肢

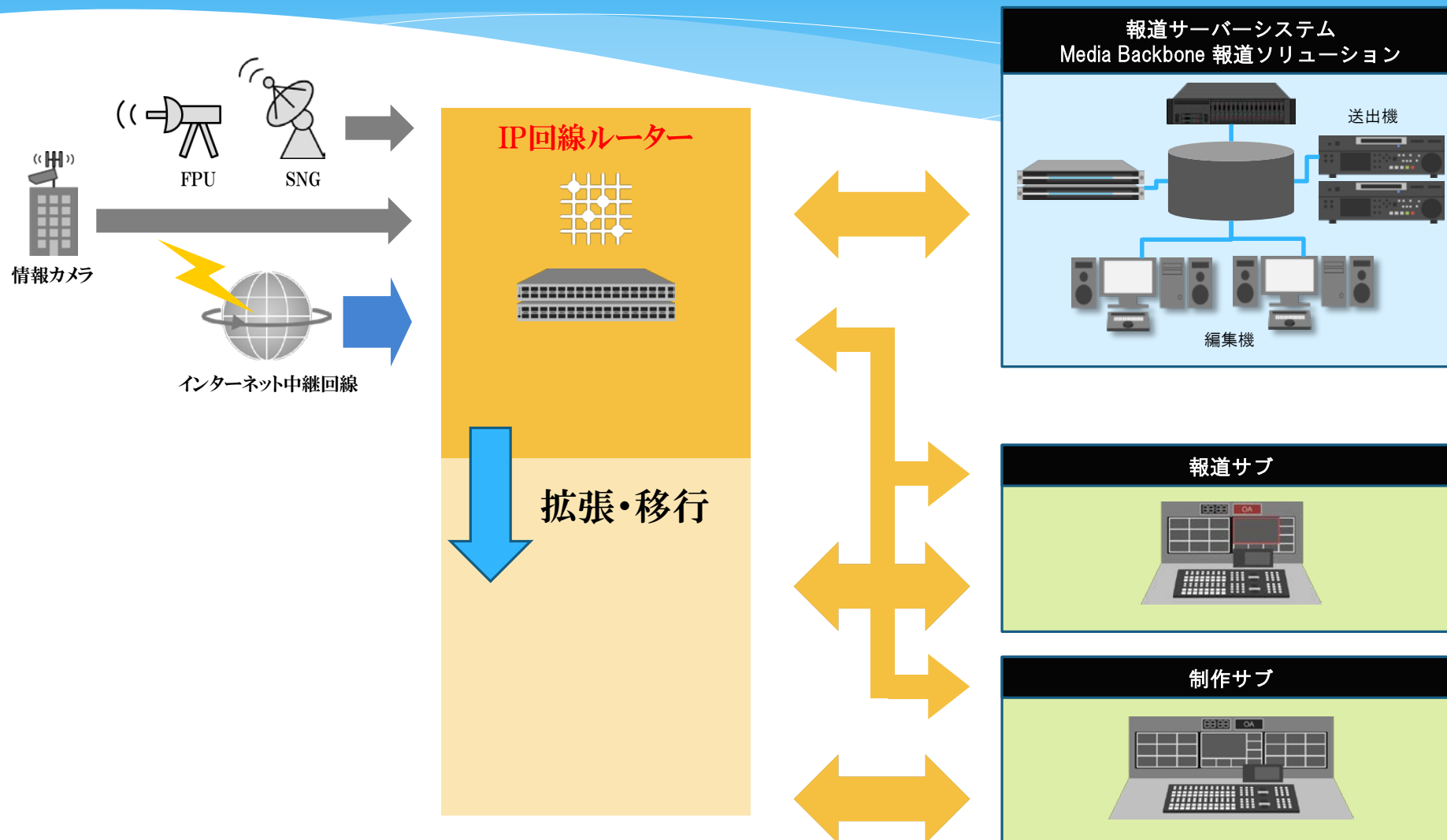
IPネットワーク



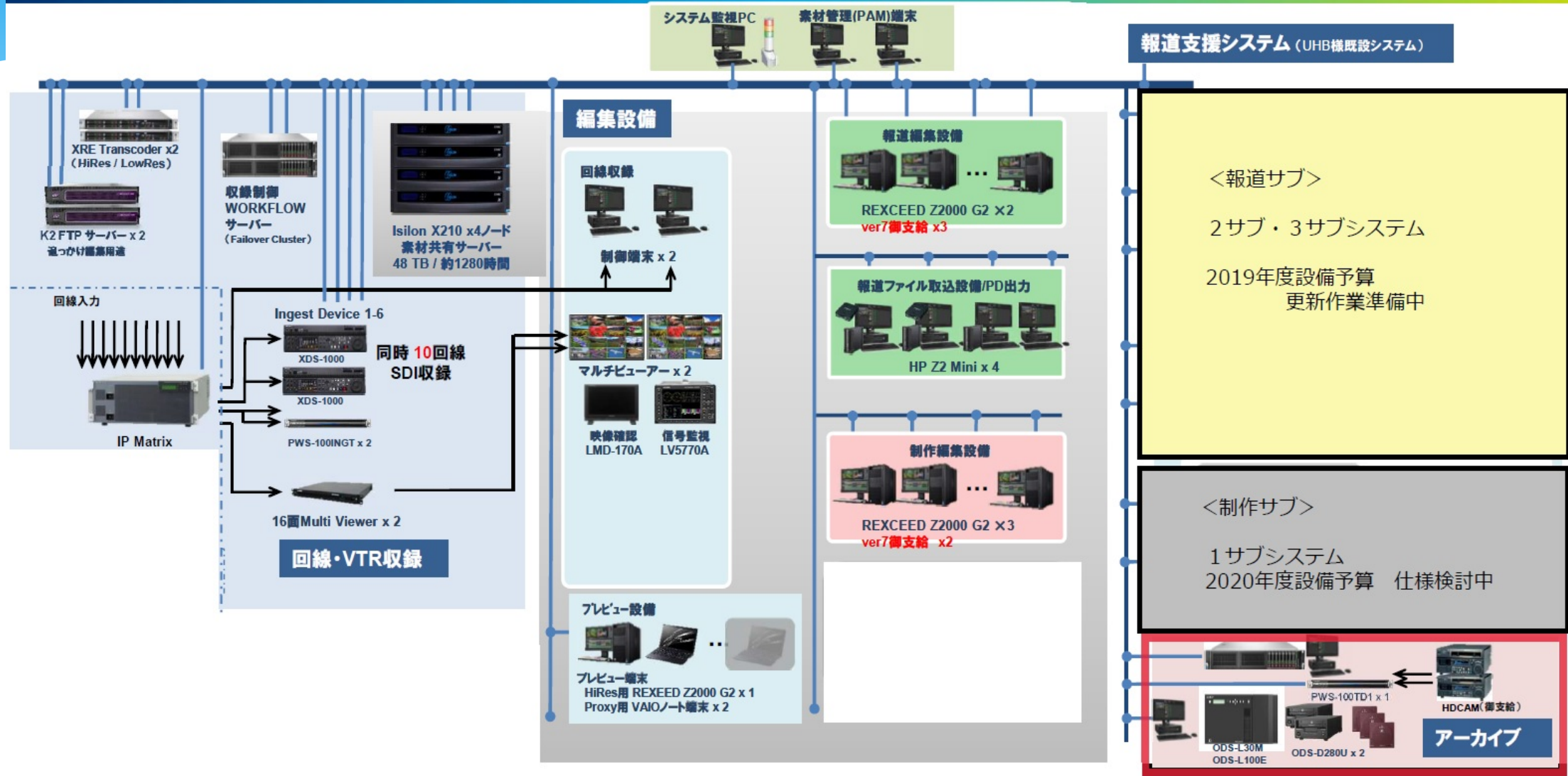
IP回線ルーターと編集システム



局内 設備概念図

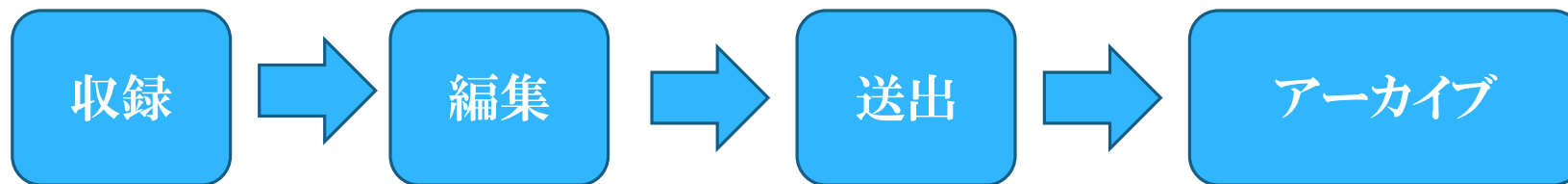


編集システムのファイルベース化



ファイルベース ワークフロー

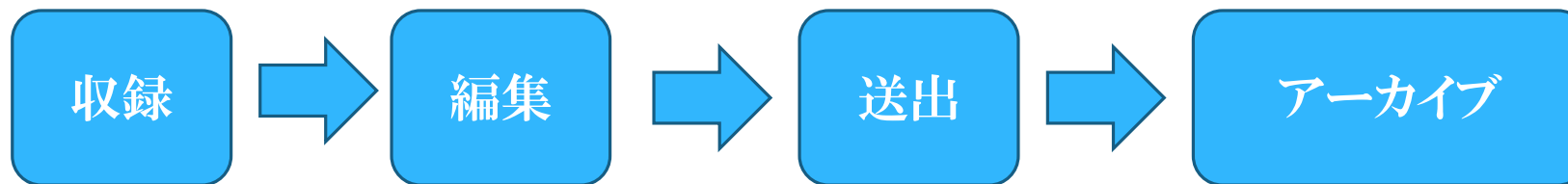
IPネットワークによる、



シームレスな業務フローの実現

ファイルベース ワークフロー

IPネットワークによる、



シームレスな業務フローの実現

IP、ファイルベース **親和性** 放送システム

今後の展開と期待

IP Live プロダクションでの取り組み

スポーツ中継などでの「リモートプロダクション」の実施

「リソースシェア」による設備の有効活用の検討

今後の展開と期待

IP Live プロダクションでの取り組み

スポーツ中継などでの「リモートプロダクション」の実施

「リソースシェア」による設備の有効活用の検討

放送技術に携わっていく者たちへ

発想、取り組みの可能性 拡大

技術変革に対応する柔軟性

ご清聴、ありがとうございました。

北海道文化放送
菊谷 康行